

けんこうチャレンジ2000!

あかるいまち21

No.927号 2016年9月15日 組織部 TEL082-532-1264

	8月累計	4月～8月
組合員ふやし	49人	500人
出資金ふやし	415万円	4,932万円
純増	▲68万円	547万円

けんこうチャレンジ 現在1,614人 2,000人の目標まであと386人!!

事業所でも月間スタート集会～生協さえき病院～

生協さえき病院が事業所のトップバッターとして、生協強化月間スタート集会を開催しました。9月10日(土)13時から、一週間の仕事でお疲れのところを5階の会議室いっぱいにご参加いただきました。集会では、盛谷専務を講師に迎え、総代会決定の学習を行いました。「地域包括ケアシステム」がどのように提案されているのか、また、医療福祉生協としてはどのような活



動を展開していこうとしているのかについてお話しいただきました。今年度の活動方針を進めるには、土台としての生協の組織づくりが重要であると、月間の意義を学びました。最後に福山院長からご挨拶をいただき、生協強化月間をスタートしました。

『広島市の「高齢者交流サロン

運営モデル事業」に参加します』

「介護予防・日常生活支援総合事業」が平成29年4月から全ての市町村で本格的にスタートします。それに先駆けて、広島市では「高齢者交流サロン運営モデル事業」が実施されます。これは、『地域の高齢者の介護予防となりうる住民主体のサロンに、市から補助金を交付します』というもので、今年10月～来年3月の半年間は「モデル事業」として試験的な実施となります。

広島中央保健生協からは、このモデル事業に、田方支部「田方交流サロン」と東区南支部「陽だまりサロン」の2つで応募し、見事、2つとも採択されました！書類作成や会計の明朗化など、これまでやってきたやり方を変えなければならない点も多く、なかなか骨が折れそうな予感ですが、このモデル事業の経験を通じ、事業の改善点を見つけたりすることで、今後他支部のサロンづくりの参考になるはずです。

これからの介護保険がどうなるのか、市町村が介護予防事業などを十分に実施できるのか…いろいろな疑問や不安はありますが、外から見ているだけではどうにもなりません。市町村・地域住民・生協でお互いが協力して、より良い地域をつくっていきましょう！

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

